

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY



平成26年8月25日（月）～平成26年8月31日（日）〔平成26年第35週〕の感染症発生状況

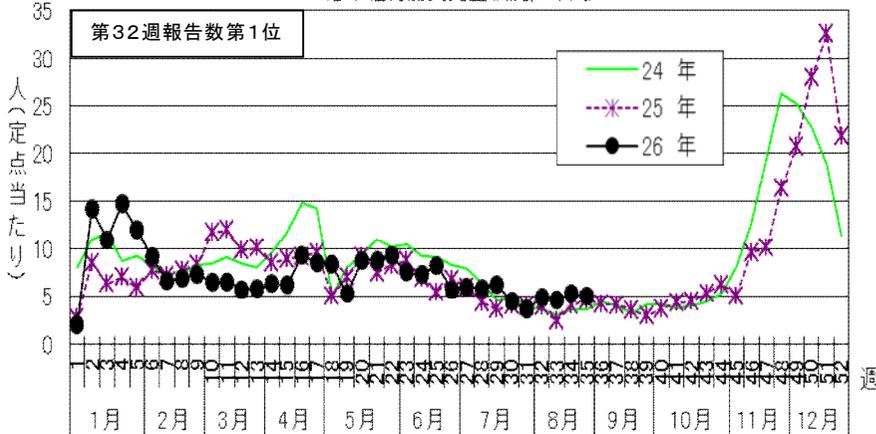
第35週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)ヘルパンギーナ 3)突発性発疹でした。

感染性胃腸炎は定点当たり4.94人と前週（5.30）より患者報告数は減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。

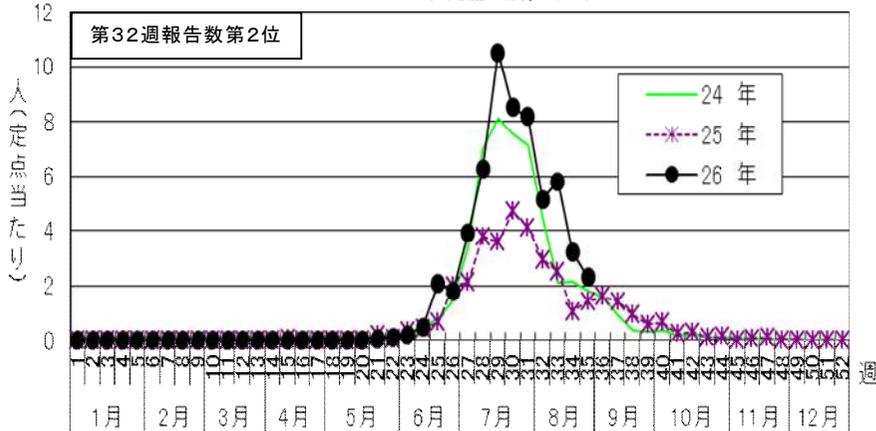
ヘルパンギーナは定点当たり2.31人と前週（3.21）より患者報告数は減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。

突発性発疹は定点当たり0.91人と前週（0.79）より患者報告数は増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



ヘルパンギーナ発生状況(3年間)



## 国内での感染疑い事例～デング熱～

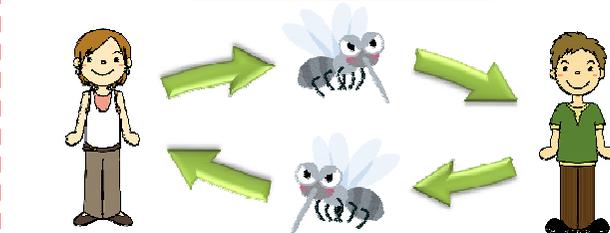
デング熱は、国内でも年間100～200例程度の輸入例が報告されていますが、今年の8月以降、海外渡航歴のないデング熱の国内感染疑い事例が、9月2日時点で34名報告されています。

川崎市では、平成14年以降蚊の捕集調査を実施していますが、デングウイルスを保有する蚊が検出されたことはありません。



デング熱に感染しないために、虫除け対策を徹底してください。

### 感染経路は？



デング熱は、ウイルスに感染した患者を蚊が刺し、その蚊が他の人を刺すことで感染します。  
ヒトからヒトに直接感染することはありません。

### 気をつけたいこと

予後は比較的良好な感染症ですが、デング出血熱やデングショックとよばれる重篤な状態になることもあります。また、アスピリンなどを含む解熱剤の使用は出血症状を悪化させることがありますので、ご注意ください。

鼻血や歯ぐきからの出血が止まらない状態や不安・興奮状態は重症化のサインですので、早めに医療機関を受診してください。